

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和7年2月

法人名	NPO 法人ワーカーズ コープかがやき	代表者	風間 隆治	法人・ 事業所 の特徴	一人ぼっちにしない、寝たきりにならないしないを理念に、利用者一人一人に寄り添い、「通い」「訪問」「泊まり」を柔軟に組み合わせることにより、住み慣れた地域でその人らしい暮らしが続けられるように支援いたします。
事業所名	四季のベンチ	管理者	小林 雅典		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	1	3	1	1	1	1	2		11

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	人員は定着しているが、高齢化しており新しい人材がなかなか入ってこない。魅力ある事業所であることをアピールし、新しい人材確保と人材の成長に力を入れる。	よりコミュニケーションの取りやすい職場作り、可能な限り希望に沿った勤務シフトを作成し、働きやすい環境を整えた。人材育成は、研修や学習会に参加した。	利用者様の情報取得がまだ足りていないと感じることがある。ご家族やご本人にもじっくりと話を聞ける時間を持ちたい。	賃金をはじめとする就業条件改善だけでなく、介護の仕事にやりがいや喜びを感じられる体験を増やしていくことで、より質の高い介護を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染予防をしつつ、誰でも気軽に入れる雰囲気を出す。「デマンドタクシー停留所」や「安心の家」であることも周知させる。	5類に変更になったこともあり、ご家族の面会も健康確認しつつ、再開した。また、作品展も玄関に実施。	コロナ禍以降、立ち寄ることが以前のように気軽にできなくなっている。地域でも外出や人と会う機会が減少してきている。	感染予防に引き続き留意しながら、面会やボランティアの方に来所いただけるように努め、作品等も引き続き展示する。
C. 事業所と地域のかかわり	「お祭り」や「健康と福祉の集い」を通して、地域を元気にするお手伝いをする。また、気軽に四季のベンチに顔を出してもらえるように地域のボランティアの積極的な受け入れをする。	「秋祭り」や「健康と福祉の集い」に参加し交流を図った。地域のボランティアの方に手遊びやミニコンサートなどをしていただいた。	認知症の学習会など今後してほしい。 地域の祭りや行事にも参加してほしい。	地域の行事に利用者様とともに参加する機会を増やししながら、地域のボランティアを積極的に受け入れていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のイベントは、感染予防を徹底して参加したい。人込みにはいなくても、季節に応じて利用者さんを外に連れ出したい。	季節に応じてドライブや、散歩をしていただいた。地域のイベント参加には、できる限りの参加（見学）をした。	外出やドライブは多くの方が喜ばれる、また秋祭り開催によって、そこに参加することも地域との接点として重要。	地域の方に年間行事をお聞きし、職員体制を整えながら地域行事への参加、ドライブを実施する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	認知症の方を地域で見守っていただくために、運営推進会議の場で活発に意見を出してもらい、事例検討をする。	運営推進会議は定期的開催でき、事例検討を行い、皆様からアドバイスもいただいた。地域の困りごととも共有できた。	区長はじめ民生委員の方々がとても協力的でありがたかったです。地域の様子も教えていただいた。	事例検討をし、地域の困りごと、外部から見た課題等を積極的にご意見いただく。
F. 事業所の防災・災害対策	利用者さんも参加しての防災と水害訓練を定期的にする。消防署に来て評価してもらおう。日常的に災害についての話し合いを行う。	消防署に指導していただき、消火訓練避難訓練を実施。期中に、防災備品の棚卸を役割分担して実施し、防災意識を高めた。	地域の防災訓練にも参加していければなお良いと思います。	年2回の火災避難訓練、1回の水害避難訓練を実施とともに、地域の防災訓練にも参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月27日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 全職員 16名中 12名 (含: 常勤6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10		1	12

前回の改善計画	・新規の方の、生きてきた背景を情報として入手し、推測とコミュニケーションをして、本人の希望が見えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者さんとコミュニケーションをとって、その人の情報を入手できた。どうやって生きてきたかや生活歴について全職員に共有することが今後の課題となる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	6			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7	5			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	4			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	6	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ミーティングがしっかりできているので情報共有ができています ・個々に声掛けやコミュニケーションができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・すべての情報の共有ができていたかは不明。ミーティングノートでの情報は共有できているが。 ・家族希望が優先されてしまう。 ・表面的なかかわりしかできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者さんとゆっくり時間をとってコミュニケーションをとる。お風呂の時間や夜勤の時間、訪問に行った時など、じっくり話ができる時間を有効に使う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月27日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 全職員 16名中 12名 (含: 常勤6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		10	2		12

前回の改善計画

・本人の希望を理解し、家族にも本人の状況を理解してもらう。  
預けている時間が長い・多い利用者の家族が「預けてあるから安心」だけでなく自宅での関りを多くしてもらい、利用者の思いを理解してもらうようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・家族への働きかけは、難しい。困っているなかで、利用しているので、利用者の気持ちを伝えたところでそれに対して利用が変わることはなかった。利用者の思いに寄り添い、この場所がこちよいい場所になるように支援することならできないのではないかと。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	10	1		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	8	2		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		10	2		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	3		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・デイや訪問でかかわったことは皆で共有できるようにしている。  
・家族とコミュニケーションをとる努力をしている。  
・長期・短期目標は会議で毎月確認できている。  
・その日の体調などでできる事を変えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・家族と会うことが少ないこともあり、家族の思いがわからない。  
・利用者さんと家族の思いが一致していない。  
・家族の生活リズムが優先されている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・利用者の思いを家族にも伝える。  
・個々の目標を把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月27日

3. 日常生活の支援

メンバー 全職員16名中12名(含:常勤6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	1		12

前回の改善計画	・家族からもらえる情報が少ない利用者については、ケアマネ頼みになっているが、コミュニケーションを増やして情報をこちらから得るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コミュニケーションが難しい利用者の情報がとれにくい。コミュニケーションを通して新たな気づきを得られた利用者も多くいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	8	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	8			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	6	2		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	6			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・個別ケアができている。 ・状況に合わせて対応できている。 ・ミーティングで利用者の変化の共有ができている。 ・自立支援を促せている、できないところは支援で来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・利用者の自宅での暮らしが10個以上把握できていない。 ・元気なころの生活の様子がわからない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・家族からの情報を連絡ノートに記入していただくことで様々な情報がわかる。有意義な連絡ノートの使い方をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月27日(17:30～18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 全職員16名中12名(含:常勤6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	1		12

前回の改善計画	<p>・コミュニケーションだけでは、今までの生活スタイルの深堀ができないので、ちょっとした会話からみんなまで話し合い、推測していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・朝夕のミーティングで情報を共有し、生活歴などを推測している。 ・利用者の地域での活動を増やせることが理想だが、地域での知り合いもいなくなっており、地域での人間関係が希薄になっていることがほとんどである。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	2		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	6		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	7		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	9		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・ボランティアのかたにレクに来てもらっている。 ・コミュニケーションの中で本人から情報を得ている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・民生委員・地域資源についてよく理解できない。 ・利用者と地域の関りが見えない。 ・独居が多く、家人も地域との関りが分かっていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・地域でどんなことをしていたのか、本人からでも家族からでも得ることができる。近所の友達などのお茶飲み会など、可能な範囲で継続していくためには、事業所としてはなにができるのか、まずは意識していき、ミーティングの題材としてとりあげる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月27日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 全職員16名中12名(含:常勤6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	9		1	12

前回の改善計画	・利用者の体調に敏感になり、感染症などいち早く察知する。(コロナが5類になったことにより、事業所での水際対策がとめられている)
前回の改善計画に対する取組み結果	・刻々とコロナの扱いが変わってきており、事業所も家族も対応を変えていっているため、その周知ができていなく、家族が混乱してしまうことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	4	4		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	8	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	8			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	6	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調の変化にいち早く気が付き、家人に連絡できている。 ・本人や家人より、体調の変化に気が付けている。 ・ボランティアの受け入れや秋祭りができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・判断が難しい時がある。 ・家人からの過剰なサービスの要望がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・コロナの対策を再検討していく。 ・事業所の中だけでなく、季節や天候、地域の行事に合わせて外出する機会を設け、利用者を楽しんでもらう機会を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月27日

6. 連携・協働

メンバー 全職員16名中12名(含:常勤6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	8	2		12

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・担当者会議に参加し、事業所としての意見を提案していく。</li><li>・コロナが5類になったが事業所と地域とのギャップが大きく、どこまでの受け入れが妥当かその時の状況で判断していく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・担当者会議には参加できて、話もできた。</li><li>・コロナに関しては、ほかの小規模や事業所からどのようにしているのか聞き、参考にして四季のベンチの対応を話し合っている。病院は比較的慎重で面会制限などがあるが、介護事業所の対応は千差万別である。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等)の他事業所との会議を行っていますか?	2	7	2	1	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	5	5	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	5	5	1	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	7	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当者会議でほかの事業所とも連携が取れた。</li><li>・ボランティアに来ていただいている。</li><li>・地域の活動に参加できている。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当者会議に参加していない職員もいる。</li><li>・地域の活動やイベントも多人数参加のものには感染症の恐れから、まだ参加できない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当者会議に参加できなくても、事前にケアマネがどのような話をしてほしいかきいてくれるので、意見や提案を伝えていく。</li><li>・地域のイベントの情報を収集し、参加できそうなものには参加したい。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月27日

7. 運営

メンバー 全職員16名中12名(含:常勤6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		9	2	1	12

前回の改善計画	・地域との関係づくりが弱い。今年は、祭りや健康と福祉の集いが開催されるので、参加して、地域の事業所として宣伝していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナの影響が多少残っている中でも祭りが開催され、参加し地域の方との交流ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	4	5	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	1		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	4		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	6	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・かがやきに参加している ・苦情や意見が言いやすい ・会議の参加が出来た

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域との協力が充分できていない。地域とのかかわりがうまくできていない。コロナの影響がまだ残っており、全面解禁とはならずなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・祭り等を通じて、地域の保育園や地域の方と交流をはかり、関係作りを強化する また地域の情報を職員間で共有する ・積極的に担当者会議に参加し、地域の話の聴き共有する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月27日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 全職員16名中12名(含:常勤6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	3		12

前回の改善計画	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の参加を計画的にして、参加する</li><li>・地域の連絡会に参加できる機会を作ってもらう</li></ul>
前回の改善計画に対する取組結果	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・年度末の面談時に次年度の研修の計画を話し合い、計画的に研修ができている(常勤)</li><li>・非常勤の外部研修がない</li><li>・外部研修の報告で情報共有できている。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	n できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	5	1	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	4	1	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	6	3	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・可能な範囲で研修に参加できている</li><li>・年間計画を組み内部研修は毎月できている 職員の出席率が高い</li><li>・リスク回避できるように情報共有し、利用者の状況も報告できている</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・外部の研修に参加していない(非常勤)</li><li>・地域の連絡会に参加できていない 体制確保しにくい</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の参加を計画的にして、可能な限り参加する</li><li>・地域の連絡会に参加できる機会を作ってもらう</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月27日

9. 人権・プライバシー

メンバー 全職員16名中12名(含:常勤6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	6	1	12

前回の改善計画	・後見制度の勉強をする
前回の改善計画に対する取組み結果	・組織的な勉強会ができず、個々の勉強となってしまった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12				12
②	虐待は行われていない	12				12
③	プライバシーが守られている	12				12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6				12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	12				12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・人権・プライバシー保護はできている 個人情報につながるファイル等の持ち出し禁止している ・拘束なく、見守りで安全につとめている 職場内の勉強会ができている ・スピーチロックに気を付けている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ホールでその場にはいない利用者の話をしてしまう ・利用者のできていないことを優先して話してしまう ・後見人制度の勉強ができていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・後見制度の勉強会をする ・出来ないことよりも出来ることに着眼する	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	10		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	11		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	10		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	11		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・常勤・非常勤がほぼ全員参加でサービス評価の話し合いができています。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・特になし

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・特になし

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・職員同士のコミュニケーションが取れている。
- ・今後、人材を育てていくことが必要だが、そもそも介護から他業界への流出に歯止めがかからず、新しい人材確保が大変むずかしい状況になっている。  
職員の高齢化が問題となっている。

【改善計画】※後日記入

・よりコミュニケーションの取りやすい職場を目指すとともに、可能な限り希望に沿った勤務シフトを作成し、働きやすい環境を整えた。人材の成長については、内外の研修や学習会に参加した。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7	1	3
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	9		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8	2	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	10		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・隣ではサロンをしているので入りやすい。

【前回の改善計画】

感染予防をしつつ、誰でも気軽に入れる雰囲気を出す。「デマンドタクシー停留所」や「安心の家」であることも周知させる。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・コロナ禍以降、立ち寄ることが以前のように気軽にできなくなっている。
- ・地域でも外出や人と会う機会が減少してきている。
- ・ボランティアなどに来ていただく機会を増やし、イベント等で門戸を広げていく。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・感染要望に引き続き留意しながら、面会やボランティアさんの来所をお越しいただけるように努め、作品等も引き続き展示していく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11		
1	職員はあいさつできていますか？	11		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6		5
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	6		5
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	9		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

「四季のベンチ」として、近所には知られている。  
高齢協で毎月イベントを企画したりして、活気が戻ってきている。

【前回の改善計画】

「お祭り」や「健康と福祉の集い」を通して、地域を元気にするお手伝いをする。また、気軽に四季のベンチに顔を出してもらえるように地域のボランティアの積極的な受け入れをする。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

・四季のベンチとしては「認知症サポーター講座」を開き、20人ほどの参加があった。  
今後も認知症の勉強会を開いて、認知症の方と共に暮らせる地域づくりを続けたい。

地域の行事に利用者様とともに参加する機会をふやしていきながら、地域のボランティアの積極的に受け入れていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	8		3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	10		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		7
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	7		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・認知症の方が増えていくので、地域ケア会議などをして、地域として認知症とかかわっていくようにする。

【前回の改善計画】

最後まで地域でというが、実際は家族の協力がなければ難しい。家族の負担が大きくなり、ある程度の介護度になってしまうと施設に入居を希望されてしまう。特に一人暮らしの認知症の方が生活を続けていくことはかなり困難である。

「組合員の集い」は行って、組合員の話をきけた。「健康と福祉の集い」再開に協力する

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・佐久大学よりボランティア研修の依頼があり、コロナ感染の様子で、参加してもらうことが決まっている。
- ・小学校や保育園との交流がなくなってさみしい。

【改善計画】※後日記入

地域のイベントへは、感染症予防を徹底して参加をする。あまり人込みにはいかない、できる範囲で利用者さんを外に連れ出す。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	11		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	10		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6	3	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		5

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員さんから事例を提示してもらい、地域の事例検討を来年度には行いたい。</li> <li>・運営推進会議が地域のためになるものとしていきたい。</li> </ul>
<p><b>【前回の改善計画】</b></p> <p>運営推進会議自体の開催が少なく、なかなか地域の困りごとの話が聞けなかった。また、民生委員の交代の時期がかさなり、十分に話ができなかった。運営推進会議の開催ができ、地域の情報を聞ける場を設ける。</p>
<p><b>【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活気ある意見がだせる運営推進会議にしたい。</li> </ul>
<p><b>【改善計画】※後日記入</b></p> <p>認知症の方を地域で見守っていくために、運営推進会議で意見交換をする。事例検討を通して、認知症の方の気持ちの理解をする。</p>

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	8		3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	6	3	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	7	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		7

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・福祉避難所がほしい。

【前回の改善計画】

とりあえずBCPは出来上がり、職員みんなで周知している。10月には発電機をみんなで動かしてみた。12月中に保存食の購入をする。コロナ感染については国や県の指標が変わるので、対応をその都度変えなくてはいけない。防火管理者を四季のベンチ管理者にして、防災計画を立て直した。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

・このあたり一帯は、水害地区の避難場所がないため、地域で声を掛け合って逃げ遅れることがないようにしないとイケない。  
 ・実際には四季のベンチにも避難してくる人がいると思うが、避難場所としてはふさわしくないと地域に認識してもらわないとイケない。

【改善計画】※後日記入

利用者さんも参加しての防災・災害訓練を定期的にする。消防所に来てもらい、批評してもらい、次回の訓練を有意義なものにする。  
 各地で起きた震災を振り返り、実際に震災がここで起こった時にどう対応していくかを日常的に話し合い、いざというときに動けるようにする。

## 事業所に対するご意見・ご感想

- ・ 今後も地域の認知の方への支援をしてほしい  
地域のつながりを強化して、地域に根差した施設であり続けてほしい
- ・ 地域の行事に利用者さん含め職員も参加していけるとよい。
- ・ 家族会もなかなか人が集まらなると聞く。地域の方も含めてオレンジカフェを検討してほしい。